

科目名 社会福祉基礎

単元名 (3) 社会福祉思想の流れと福祉社会への展望

内容のまとめ ウ 地域福祉の進展

1 単元の目標

- (1) 社会福祉思想の歴史的変遷と関連性、地域福祉について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (2) 社会福祉思想の歴史的変遷や地域福祉の現状に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。
- (3) 諸外国や日本の社会福祉思想や歴史的経過を踏まえ、地域共生社会を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会福祉思想の歴史的変遷と関連性、地域福祉について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉思想の歴史的変遷や地域福祉の現状に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	諸外国や日本の社会福祉思想や歴史的経過を踏まえ、地域共生社会を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 指導と評価の計画

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	○医療提供施設の概要と医療にかかわる専門職について理解させる。 第1節 医療提供体制のしくみ	・現在展開されている地域医療や医療に従事する専門職について調べ、考察した内容を記入する。 ・医療提供施設の種類や現在の医療提供体制について、教科書の記述から理解した内容を記入する。	1	⑩ 医療提供施設の種類や現在の医療提供体制について理解し、適切に理解している。	⑯ 地域医療や医療に従事する専門職について調べ、分かりやすくまとめている。		プリント 定期考査
第1章 多様な社会的支援制度 第2節 特別支援教育の制度	○特別支援教育の歴史や制度について理解させる。	・特別支援学校と特別支援学級の違いを比較し、考察した内容を記入する。 ・特別支援教育の歴史的背景について、教科書の記述から理解した内容を記入する。	1	⑪ 特別支援の法制度と特別支援教育の歴史的背景について理解している。	⑰ 特別支援学校と特別支援学級の違いについて調べ考察し、分かりやすくまとめている。		プリント
第1章 多様な社会的支援制度 第3節 特別支援教育の実際	○特別支援教育の現状について考えさせる。	・特別支援教育の現状について資料を読み取り、考察した内容を記入する。 ・特別支援学校における自立支援とは何か考え、グループで話し合った内容をまとめ、発表する。	1	⑫ 特別支援学校における自立支援とは何か理解している。	⑱ 特別支援学校における自立支援をもとに地域で共に歩んでいく方法を考え、提案している。		プリント 発表態度 ワークシート 行動観察
第1章 多様な社会的支援制度 第4節 司法と福祉の連携	○司法における福祉の役割と家庭裁判所の機能について理解させる。	・高齢者や障がい者にも目を向け、安全な社会について考察した内容を記入する。 ・地域における福祉の専門職と他機関におけるネットワーク構築の必要性について、教科書の記述から理解した内容を記入する。	1	⑬ 地域における福祉の専門職と他機関におけるネットワーク構築の必要性について理解している。	⑲ 高齢者や障がい者が安全に暮らせるための社会の仕組みについて考え、まとめている。		プリント 定期考査
第1章 多様な社会的支援制度 第5節 年後見制度と成年後見制度	○日常生活自立支援事業と成年後見制度について理解させる。	・成年後見制度や日常生活自立支援事業とは何か、教科書の記述から理解した内容を記入する。 ・日常生活自立支援事業の利用事例から、社会福祉の専門職の役割について考え、グループで話し合った内容をまとめ発表する。	1	⑭ 成年後見制度、日常生活自立支援事業について理解している。		⑮ 日常生活自立支援事業の利用事例から、社会福祉の専門職の役割について、自ら課題を設定しようとしている。	プリント 定期考査 発表態度

4 学習活動と評価方法（学習指導案）

科目名	社会福祉基礎		使用教科書	社会福祉基礎（実教出版）
単元名	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第1章 多様な社会的支援制度			
本時の主題	第3節 特別支援教育の実践（3時間／5時間）			
指導観	<p>本校福祉科1年生の生徒は、全員が将来、介護福祉士や看護師、医療職として働きたいという夢や目標をもって入学している。11月には5日間、障がい者支援施設で介護実習を行った。しかし、例年と比べ、コロナ禍の影響もあり職業体験やボランティア等の経験値は少ないのが現状である。</p> <p>本時は特別支援教育の現状について理解を深めることを目的とするとともに、障がい者支援施設での介護実習の体験やインタビューも踏まえながら、特別支援学校における自立支援や卒業後の進路について理解を深め、どのように地域の一員として共に歩んでいくとよいか考えさせたい。</p>			
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校における自立支援とは何か理解している。【知識・理解⑳】 特別支援学校における自立支援をもとに地域で共に歩んでいく方法を考え、提案している。【思考・判断・表現㉑】 			
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価規準と評価方法	指導上の留意点
導入 5分	本時の目標を確認	<p>事前に調べてまとめた特別支援学校、高等特別支援学校に関するワークシートを確認する。</p> <p>本時は、特別支援教育の現状について理解を深め、どのように地域の一員として共に歩んでいくとよいか考えていくことを確認する。</p>		<p>MetaMoji ClassRoomを起動させる。</p> <p>本時の目標と授業内容を説明する。</p>
展開 40分	特別支援学校における自立支援	<p>1 特別支援学校と高等特別支援学校における自立の学習について理解する。</p> <p>前時の授業でまとめたワークシートや介護実習先でのインタビューをもとに、特別支援学校や高等特別支援学校で卒業後の自立に向けた取り組みや卒業後の課題について記入する。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的な職業を想定した授業内容がある。 障がいの特性に配慮しながら、就労を見据えたマナー学習や就労支援がある。 <p>2 障がいのある子どもに対する卒業後の自立をサポートするための制度や機関を理解し、福祉を学ぶ私たちに何ができるかを考え、発表する。</p> <p>地域に存在する教育訓練機関や障害者就業・生活支援センターについて理解した上で、地域で一歩に歩んでいく上で私たちに何ができるかを考え、ワークシートにまとめて、発表する。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> 介護現場で一緒に働いた時、その人の特性を理解した上で一緒に利用者支援を行う。 	<p>評価規準【知識・理解⑳】</p> <p>特別支援学校における自立支援とは何か理解している。</p> <p><評価方法></p> <p>学習プリント</p> <p>Aの例</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校と高等特別支援学校における自立を見据えた教育内容や課題について明確に理解している。 <p>評価規準【思考・判断・表現㉑】</p> <p>特別支援学校における自立支援をもとに地域で共に歩んでいく方法を考え、提案している。</p> <p><評価方法></p> <p>ワークシート・発表態度・行動観察</p> <p>Aの例</p> <ul style="list-style-type: none"> 根拠に基づいて自分の意見を記入し、発表することができる。 	<p>特別支援学校や高等特別支援学校で卒業後の自立に向けた取り組みや卒業後の課題を記入させる。</p> <p>（Bを実現するための指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校と高等特別支援学校の役割を理解し、課題を挙げ、それぞれの内容をまとめさせる。 <p><Cへの手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な例を挙げ、特別支援学校と高等特別支援学校の役割を理解させる。 <p>ペアで1枚のMetaMojiワークシートの中に、自分の考えを記入させ、意見交流を行いながらペアでシートを完成させる。数ペアに全体の前で発表させる。</p> <p>（Bを実現するための指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えに加え、なぜそう考えたか理由を加えながらまとめ、発表させる。 <p><Cへの手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> 具体例を挙げさせたり、仲間の意見を参考にさせたりしながら、自分の考えを述べさせる。
まとめ 整理 5分	本時のまとめ	障がいのある子どもが、自立を見据えた教育を受けていることや地域のサポート機関について知り、地域		プリントを記入し、提出するよう説明する。

	次回予告	で共に生活していくことの意義を理解させる。 授業のまとめ及び自己評価を記入する。		次回の授業内容について説明する。
--	------	---	--	------------------

□工夫している点

- ・障がい者支援施設における介護実習での体験や職員へのインタビューを生かしながら、特別支援教育の実際について関連付けさせることができる。
- ・ICT機器を活用し、発表した内容を視覚化することで、仲間の考えと自分の考えを比較しながら自らの思考を深めることができる。
- ・人前で自分の考えを発表することが苦手な生徒も、ペア学習を行うことで自信をもって自分の思いを伝えることができ、さらに互いに理解を深めることができる。

□実践後の評価結果

	学習活動における 具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と 判断される状況 (A)	「努力を要する」と 判断される状況 (C)
評価	評価規準【知識・理解】-② ・特別支援学校における自立支援とは何か理解している。	・特別支援学校と高等特別支援学校における自立を見据えた教育内容や課題について明確に理解している。	・自ら行ってきた介護実習での体験について考えることができず、学習プリントに記入することができない。
生徒の状況	・前時に調べた特別支援学校と高等特別支援学校の内容から自立に向けた取組みをプリントに記入できている。	・介護実習先での体験を基に、より具体的に自立に向けた取組みや課題をプリントに記入することができる。	・具体例を挙げるが、実際に活動してきたことを記入することができない。
記述例	・それぞれの学校で専門的なコースがあった。学校で学んだことが卒業後も生かされていると感じた。	・障がいに応じた就労ができるよう各学校で専門的な授業が設定されていることが分かった。実習先でも仲間と協力しながら作業する姿や販売先で丁寧な対応がされていたことなども学校での学びが繋がっていると思った。	・未記入

	学習活動における 具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と 判断される状況 (A)	「努力を要する」と 判断される状況 (C)
評価	評価規準【思考・判断・表現】-⑧ ・特別支援学校における自立支援をもとに地域で共に歩んでいく方法を考え、提案している。	・根拠に基づいて自分の意見を記入し、発表することができる。	・自分の考えをグループの中で提案したり、発表したりすることができない。
生徒の状況	・タブレットに記入した自分の考えとその理由を提案したり、発表したりできている。	・今までに学習した専門的知識や介護実習での体験を加えながら、自分の考えを発表したり、提案したりできている。	・自分の考えを提案したり、発表したりすることができない。
記述例	・同じ職場で働いた時には、すべて手助けせず苦手な部分や困っている様子が見られたら声をかけたり、手を差し伸べたりすることが必要である。	・実習先の職員の方が「障がいの特性」について理解されていない部分が多いと言っていたので、まずは専門的な支援も取り入れながら障がいのある人が困った時に助けを求めやすいような環境づくりが必要となる。	・仲間の意見を聞くのみである。